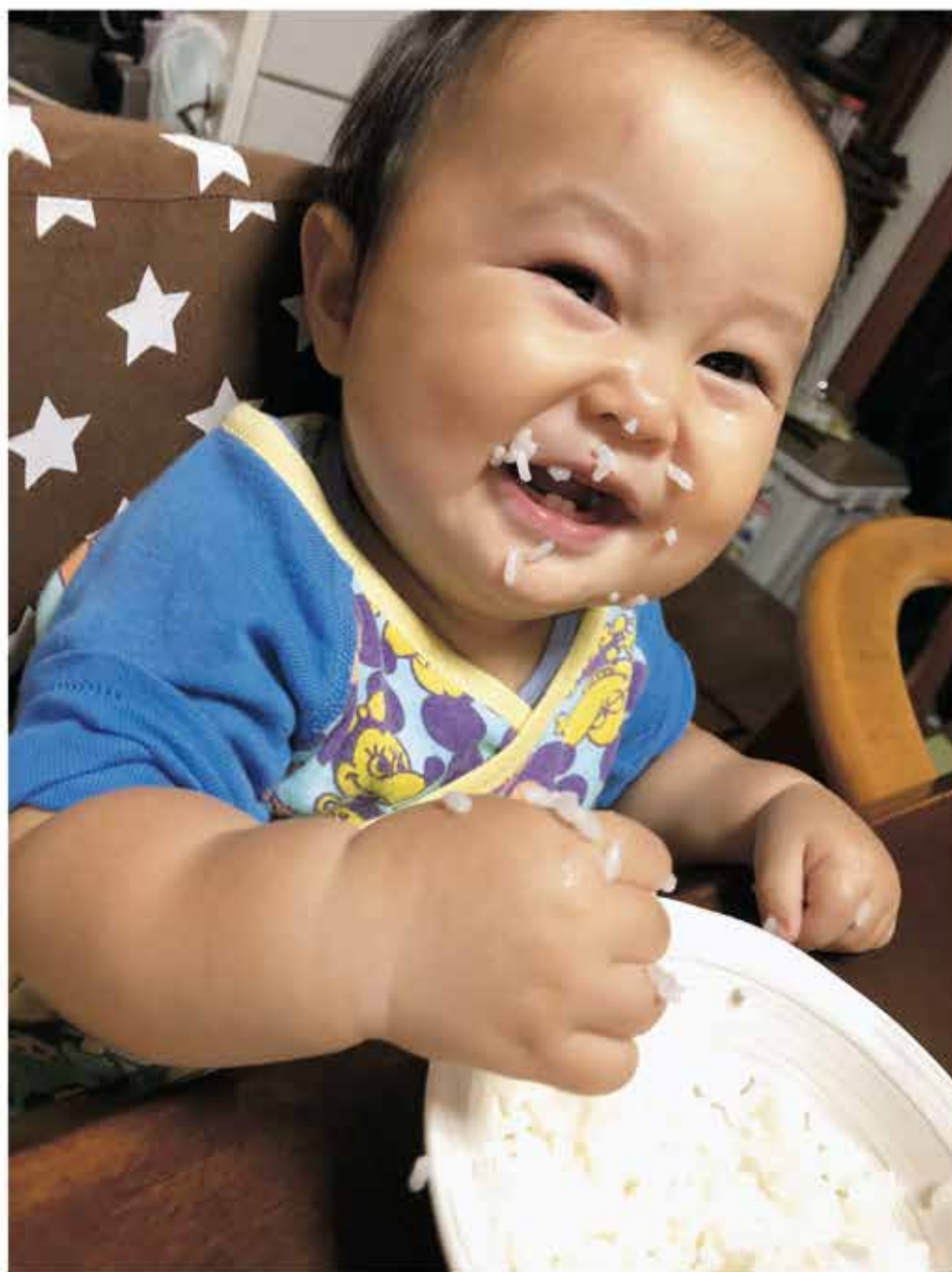


4校

令和元年度

くまもと 売れる米づくり推進大会

〈 産地集荷大会 〉



「おいしい笑顔賞」榎田 美里 様作品（第7回未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト）



くまもと売れる米づくり推進本部



概況

Outline

本県の30年産主食用米については、梅雨明け以降高温・多照に経過し、全もみ数が多くなったことから、10a当たり収量は平年を上回る529kg（作況指数103）となり、主食用米の収穫量は面積増加もあって、前年産に比べ1,200t増加の17万900tとなりました。

また、国の生産調整等による米の超過作付の解消により、米の民間在庫量は減少しているものの、少子高齢化や食生活の多様化等により、平成28年の一人当たりの年間米消費量は約54kgとピーク時の半分以上、主食用米の全国ベースの需要量は一貫して減少傾向にあり、米の販売価格は長期的に低下傾向で推移しています。

更に、各都道府県による新たな銘柄米の開発や著名人を起用した広告宣伝等もあり、主食用米の産地間競争が激化する中、本県産米は、WC S用稲の増加と県産JA米の供給不足に加え、主食用米の3割を占め、今後も堅調な需要が期待される中食・外食向け需要への対応が課題となっています。



生産編

Production

1 県産米の信頼確保（安全・安心な米づくり）と系統集荷米の差別化

JA米や残留農薬検査、DNA鑑定、サンプル保管、特別栽培米、熊本グリーン農業に加え、農産物検査技術の向上や品質事故防止対策等により、県産米の信頼確保と系統集荷米の差別化に取り組めます。

残留農薬検査

試験結果書									
第Q1500918-1号 平成28年2月4日									
熊本県農業試験場検査部 検査員 田中 浩二									
熊本県農業試験場検査部 検査員 田中 浩二									
検査結果									
検査項目	検査結果	検査項目	検査結果	検査項目	検査結果	検査項目	検査結果	検査項目	検査結果
1-アピロチン	ND	0.01 (一検)	0.01	1-アピロチン	ND	0.05	0.01	1-アピロチン	ND
2-アピロチン	ND	0.02	0.01	2-アピロチン	ND	3.0	0.01	2-アピロチン	ND
3-アピロチン	ND	0.2	0.01	3-アピロチン	ND	0.01 (一検)	0.01	3-アピロチン	ND
4-アピロチン	ND	0.2	0.01	4-アピロチン	ND	0.2	0.01	4-アピロチン	ND

JA 米

JA米要件

要件	適用	備考
種子更新	○	
農産物検査	○	
栽培履歴の記帳等	○	JA米取扱要領

安全・安心

残留農薬検査
DNA 鑑定
サンプル保管

特別栽培米
熊本グリーン農業

サンプル保管袋



DNA 鑑定

検査結果報告書	
報告NO.28822121-1	
くまもと売れる米づくり推進本部	
ビジョンバイオ株式会社	
検査責任者 小島孝二	
【定性検査】	
対象品種	検査結果
ヒノヒカリ	検出
その他の品種	不検出

農産物検査技術の向上と検査員の確保
品質事故防止対策

- ① 農産物検査育成研修の開催
- ② 技能研修会・程度統一会の開催
- ③ 農業倉庫での保管管理の徹底
- ④ C E 運営管理・環境整備コンクールの開催



JA 農産物検査員育成研修

2 品質、食味向上を目指した基本技術対策

熊本県推奨うまい米基準に基づいた米づくりや基本技術の励行による品質・食味向上に取り組めます。

1) 熊本県推奨うまい米基準に基づいた米づくり

- (1) くまさんの輝き（Aランク以上）への取り組み
- (2) Sランクへの取り組み
 - ①プレミアム三度のときめき
 - ②プレミアム森のくまさん

仕分け
集荷



2) 基本技術対策

- ①JA水稻栽培歴の作成支援
- ②高温障害防止対策
- ③土づくり対策
- ④病害虫対策

3 地域特性を活かした特色ある米づくり

くまさんの輝きを中心とした良食味ブランド米や高付加価値米及び多収性品種（やまだわら）の普及推進に取り組めます。



試験展示圃場現地検討会



くまさんの輝きレベルアップコンテスト表彰式

4 講習会・研修会等の開催

各種講習会等を実施し、JA指導員・販売担当者の技術向上に取り組めます。



水稻種子圃場審査



水稻育苗講習会



Shipment

実需者ニーズに基づく、安定した集荷と供給により、販売力を強化し、県産JA米の地位向上に取り組めます。



1 キャンペーンやイベント等による県産JA米の認知度向上と販売促進

新米キャンペーンや各種イベントでの試食販売会を実施するとともに、テレビや新聞等を活用した県産JA米の認知度向上と販売促進に取組みます。

1) 新米キャンペーン



ポスター・新聞等によるPR



新米まつりオープニングセレモニー
(ニュース・新聞を通じたPR)



新米まつりでの県産米食べ比べ



新米キャンペーンテレビ番組でのPR



抽選会 (ニュースや新聞を通じたPR)

2) 各種イベント及び試食販売会による県産JA米の認知度向上と販売促進



農業フェア



植木まつり



KAB元気フェスタ



お盆やお彼岸に新米あまくさコシヒカリを
食べようキャンペーン



福岡での三度のときめき販売促進会



大阪美米案 (高島屋他) での販促と新聞広告

3) 新品種「くまさんの輝き」の一斉販売会等によるPR



一斉販売会オープニングセレモニー



テレビ番組でのPR



TV-CM・動画によるPR

2 メディア(TV-CM、新聞・雑誌・SNS等)や公共交通機関、販促資材等による県産米の認知度向上

メディアの有効活用と、特A獲得やブームを活かしたPRにより、県産米の認知度向上に取り組めます。



TV-CM・動画によるPR



ホームページによるPR



特AキャンペーンによるPR



販促グッズ



ラッピングバスによるPR

3 コラボによる県産米の認知度向上



JAマルシェによる県産米PR



武将隊イベントでの県産米PR



城彩苑誕生記念祭での県産米PR

4 業務用米(やまだわらブレンド米)の回転寿司への普及推進

やまだわらブレンド米を使用した回転寿司の提供とバイヤーとの意見交換会によるやまだわらブレンド米の認知度向上と販売促進に取り組めます。



はま寿司バイヤーとの意見交換会



寿司市場バイヤーとの意見交換会とイベント&チラシ



5 交流会

産地と消費地との交流会の継続により、県産米への理解促進と販売強化に取組みます。

1) コーポおきなわとの産地交流米体験園場



消費拡大編

Consumption rise

作文・図画コンクールやメディア等の活用により、農業に対する理解促進と日本型食生活の普及拡大に取組みます。

1. 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの実施
2. 農業の魅力を伝える番組「Do You のうぎょう?+プラスワン」を制作・放映への協賛
3. 「地産地消」を促進した米飯学校給食推進運動
4. 農業への理解促進のため、アグリキッズスクールを実施
5. スポーツを通じた食・農業・JAへの理解推進



甲子園球児へのお米の贈呈



作品 「きんちゃん、おいしいね」
山鹿市立菊鹿小学校
小学校1年生 原口 幸花 さん



作品 「いねかり」
天草市立本渡南小学校
小学校3年生 林田 七海 さん

ごはん・お米とわたし図画・作文コンクール



Hug プレゼント企画



Do You のうぎょう+プラスワン



バケツ稲

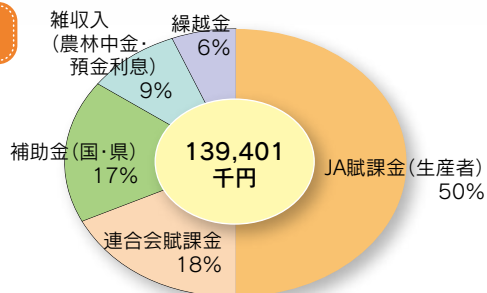


子供新聞やキャロットによる朝食欠食対策

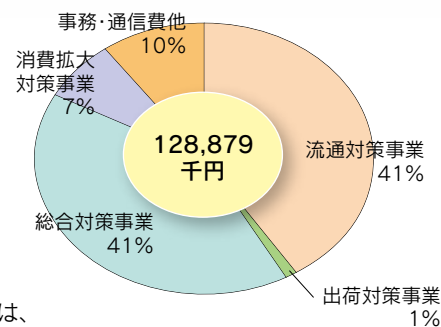


予算はこうに使われています。

収入額



支出額



※収入から支出を引いた金額(8,013千円)は、次年度繰越金となります。



参考資料

Data

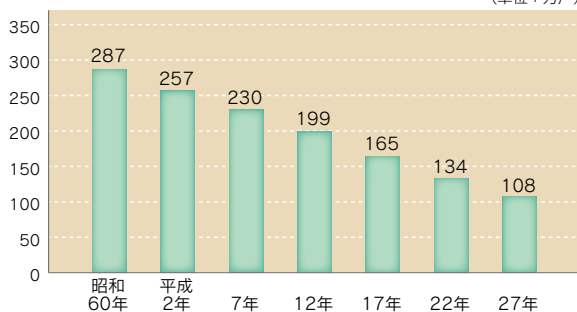
西日本で有数のお米の生産を誇る熊本県

熊本には、○清らかな水があります。○栄養いっぱい土地があります。○平野や盆地、山里など変化に富んでいます。

これらは、お米を育てるのに大変ふさわしい条件です。熊本のお米は江戸時代には東の大関「加賀米」となれば西の大関「肥後米」といわれ、西日本で有数の生産県として全国に知られてきました。

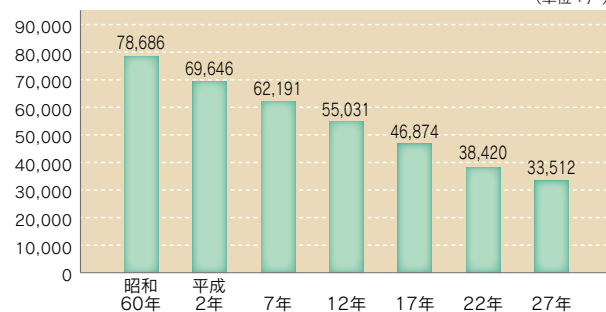
全国で水稻を作っている農家数の推移

(単位: 万戸)



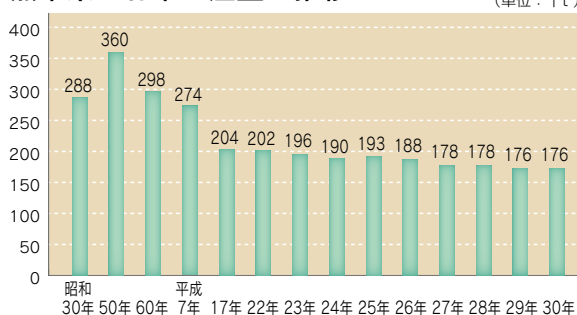
熊本県で水稻を作っている農家数の推移

(単位: 戸)



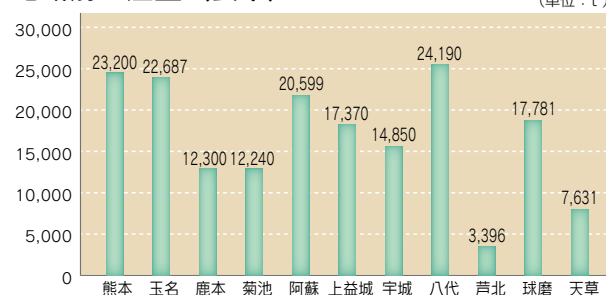
熊本県のお米生産量の推移

(単位: 千t)



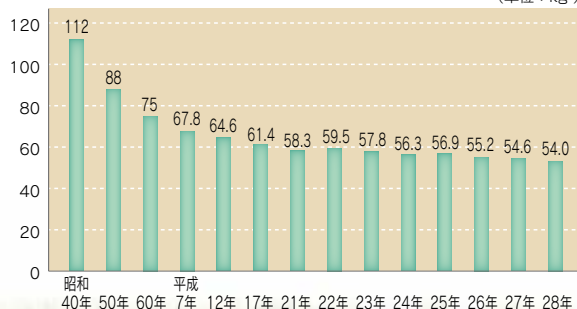
地域別生産量(玄米)

(単位: t)

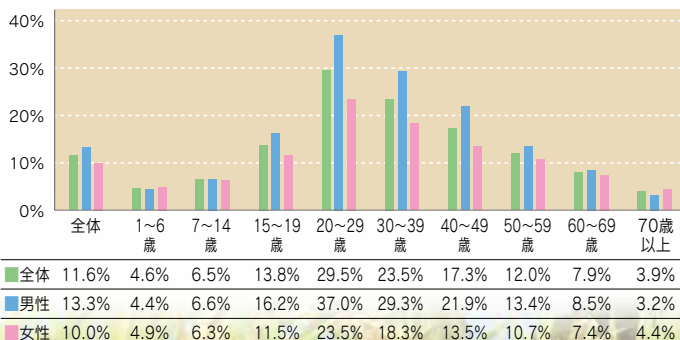


一人当たりの1年間のお米消費量

(単位: kg)



年代別朝食欠食率



※厚生労働省平成26年「国民・栄養調査報告書」より引用

くまもと売れる米づくり推進大会宣言

本日ここに、生産者・JAグループ、さらには関係機関が結集し、消費者の信頼に応える「安全・安心で美味しいくまもとのお米」の安定供給のため、令和元年産JAグループ米集荷目標110万俵の達成と生産基盤の維持強化を目指すことを宣言します。

令和元年7月23日

産地代表

上益城農業協同組合

代表理事組合長 梶原 哲